様式

<table>
<tr><td rowspan="6"></td><td>技術名称</td><td>NSカバープレート</td><td>技術の分類</td><td>維持管理</td><td colspan="2">NETIS登録の有無
（有場合はNETIS番号）</td><td>NETIS登録終了
（登録時はHR-030027-V）</td></tr>
<tr><td>会社名等</td><td>日鉄エンジニアリング㈱</td><td>担当者</td><td colspan="2">小野 勝史</td><td>連絡先</td><td>052-581-2181</td></tr>
<tr><td rowspan="3">技術の概要</td><td colspan="4" rowspan="3">5年毎の近接目視点検が義務化された橋梁では、点検・補修作業時の桁下アクセス性が課題の一つであり、特に鉄道や幹線道路、航路を跨ぐ箇所では交通規制や点検コストの課題がある。また、鋼橋の維持管理面では防食耐久性が重要テーマの一つであり、特に海浜部の塩害対策が課題である。
NSｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄは、点検・補修作業に対して常時全面歩行可能な「常設足場機能」と、鋼桁の「防食・長寿命化機能」も併せ持った多機能防食デッキである。</td><td>対象者</td><td colspan="2">☑ 国土交通省職員　☑ 港湾管理者
☑ 一般(施工業者・ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ等含む)</td></tr>
<tr><td rowspan="2">添付資料</td><td>パンフの有無</td><td>有</td></tr>
<tr><td>その他の資料</td><td></td></tr>
<tr><td>技術の特徴</td><td colspan="4">【点検・補修機能】
・桁下点検において、従来検査路では近接点検可能なエリアが限定されるが、ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄ上では全面歩行可能であり、桁下全面において近接点検が可能である。
・従来検査路では、別途、橋梁点検車両等を賃借する必要があり、交通規制やコスト、安全面等の問題があるが、ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄを設置した場合、橋梁点検車や交通規制自体が不要になり、コストや安全面の課題も解消できる。
【防食耐久性】
・断熱ﾊﾟﾈﾙを有するｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄで覆われた内部空間は、温度や湿度に対してﾏｲﾙﾄﾞな環境となり、鋼桁への結露発生を抑制できることから、鋼桁の防食耐久性が向上し、塗装塗り替えが不要になる。そのため、LCCを大幅に低減できる。
・ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄの外皮材にはﾁﾀﾝ又はﾌｯ素樹脂焼付塗装ｽﾃﾝﾚｽといった耐食性の高い鋼板を使用しており、当該製品自体も100年以上の耐食性を有する。
【防護機能】
・老朽橋梁からの床版ｺﾝｸﾘｰﾄ剥落を防護でき、第三者災害を未然に防げる。</td><td>その他</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

※複数の技術について発表をご希望の場合は技術ごとに記載願います。